

CHINA NEWSLETTER

No. 17, 4 December 2017

1. 常熟港の今年1-10月日本木材輸入量41万m³

常熟港は近年、江蘇省内の主な木材輸入港のひとつとして、木材輸入量が年間300万m³に達している。

今年1-10月における同港の輸入木材の入港は531回あり、量として合わせて263万m³にのぼり、前年同期並みとなっている。このうち、ニュージーランドからのラジアタパイン原木の入港回数、輸入量とも前年同期と比べて減少している。一方、日本産原木の入港回数、輸入量は、それぞれ166回、41万m³にのぼり、前年同期と比べてそれぞれ170%、148%増加している。今年に入り、中国向けニュージーランド産ラジアタパイン原木の値上がり傾向が続き、中国側の買い手は、より割安の日本産原木を求めている結果、同港におけるニュージーランド産ラジアタパイン原木の輸入減を埋める形で日本産原木の輸入増加につながっているとみられる。

また、同省の蘇州市管下の太倉市にある太倉港は、今年1-10月の輸入木材の入港量が921.3万m³にのぼり、前年同期と比べて28.4%増加している。中国の大手輸入業者によると、同港管内の万方埠頭には日本産スギ原木の在庫が11月中旬現在200m³あり、長さ2.4m直径40cm以上のスギ大径材の販売価格が1,350元/m³となっているとみられる。



太倉港の木材埠頭に卸されたスギ大径原木

2. 今年 1-7 月における木製家具の生産量

今年 1-7 月の木質家具生産量は、15,334.0 万 pcs に達しており、家具生産量全体（46,973.1 万 pcs）の 32.6%を占めている。

省別生産量では、広東省は 3,236.5 万 pcs にのぼり、第 1 位で全国の木質家具生産量の 21.1%を占めている。第 2 位は浙江省で 1,941.5 万 pcs に達しており、同 12.7%を占めている。山東省は第 3 位で 1,771.5 万 pcs にのぼり、同 11.5%を占めている。

上記 3 省とともに、福建省、江西省、四川省、江蘇省、遼寧省、河南省、北京市省は、産地トップ 10 ランクインを果たしている。産地トップ 10 の生産量は全国生産量の 86.6%を占めている。

中国今年 1-7 月省別木質家具生産量

	生産量 (pcs)	シェア (%)
全国合計	153,340,102	
広東	32,365,017	21.1
浙江	19,414,607	12.7
山東	17,714,999	11.6
福建	17,696,791	11.5
江西	14,440,946	9.4
四川	9,842,098	6.4
江蘇	6,416,190	4.2
遼寧	6,397,442	4.2
河南	5,402,255	3.5
北京	3,026,589	2.0
重慶	2,870,784	1.9
安徽	2,664,883	1.7
河北	2,034,119	1.3
湖南	2,012,538	1.3
湖北	1,843,112	1.2
上海	1,833,673	1.2
天津	1,789,620	1.2
吉林	1,393,774	0.9
貴州	1,247,441	0.8

広西	792,994	0.5
黒龍江	743,469	0.5
陝西	507,242	0.3
内モンゴル	498,556	0.3
雲南	120,652	0.1
新疆	101,643	0.1
寧夏	63,087	0.0
甘肅	57,945	0.0
山西	34,746	0.0
青海	12,890	0.0
海南	-	
チベット	-	

JAWIC CHINA NEWSLETTER